

障害があるということは、災害時には普段以上のハンディとなる！



2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中、障害を持つ人々に何が起きたのか？ 福島県を中心に被災した障害者とそこに関わる人々の証言をまとめた。

障害ゆえに、地震や津波から身を守れず、また必要な情報も得られない…。「ここではとても生活できない」、「周囲に迷惑をかけるから」と、多くの障害者が避難を諦めざるを得なかった。

そうした中で、避難所に入った障害者を待ち構えていたのは…。更に仮設住宅へ入居しても、そこでも大変な不自由が待っていた。原発事故により市民の姿が消えた避難区域には、取り残された障害者が不安な日々を送っていた。大震災に翻弄される障害者と、その実態調査・支援に奔走する人々の困難の日々。

今まで住み慣れた土地を追われ、避難先で新たな生活を模索する時、涙とともに放郷への思いがあふれる。被災地の障害者を取り巻く様々な課題や問題点が浮かび上がる。

ドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」
監督：飯田基晴（「あしがらさん」「犬と猫と人間と」）
製作：東北関東大震災障害者救援本部

手話通訳、要約筆記、ヒアリンググループ、バリアフリー席などの必要に応じた合理的配慮あり！

【申込み】12月19日（木）10時～受付開始 講座名、氏名、電話番号を中央公民館へ
電話：0467（77）8181 / Fax：0467（79）0141 / Mail：kouza@ayase-manavi.net

※ メールの方は、件名に「逃げ遅れる人々」、本文に「氏名」、「電話番号またはFAX番号」、必要な情報保障・配慮を明記してください。

※ 介助者も併せてお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は、必要項目をご記入の上送信ください。【Fax】0467（79）0141

FAX用申込書	逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者 ～ その時、あなたならどうしますか？ ～
ふりがな お名前 (介助者お名前)	<p>■ 必要な情報保障に○をしてください 手話通訳 ・ 要約筆記 ・ ヒアリンググループ</p> <p>■ 配慮が必要なことをお知らせください</p>
連絡先 電話/FAX： メールアドレス：	

※ 個人情報は適切に管理し、本講座の目的のみに使用しますのでご承知ください。

※ メールでのお申し込みの方へ：1週間以内に確認の連絡がない場合は中央公民館までお問合せください。